

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校特別支援学級整備事業			会計	款	項	目	大	小
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	武田 淳				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒、教職員	意図	特別支援学級の施設及び設備の整備
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級の開設に伴う施設整備 特別支援学級へのエアコン設置 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> これまで特別支援学級の施設整備とエアコン設置は別々の事業で実施してきたが、特別支援学級関係の整備事業は当事業に一本化。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標で表すことができない定性的な成果	学校からの要望や特別支援学級の在籍児童の活動に対応した施設整備						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・特別支援学級の翌年度開設のための施設整備を2校、既存の特別支援学級へのエアコン設置を1校で実施した。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				4,893,070			
事業費（b）（円）				4,672,500			
うち一般財源				4,672,500			
職員給与費(c)(円)				220,570			
人役・職員(人)				0.03			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)				0.01			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	【新規事務事業により記載なし】	取り組みの課題	特別支援学級の対象児童数は前年まで確定せず、年次計画がたてられない。
今年度(H25)に実施した取り組み	【新規事務事業により記載なし】	今後の改善計画	特になし